

2020年8月13日

パートナー各位

Horizon 8 におけるパッケージ内容の変更について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

VMware Horizon の最新バージョンとなる Horizon 8 は、8月11日より一般提供の開始をいたしました。今回の最新バージョンのリリースに際しては、製品およびパッケージに関する重要なアップデートがございますため、本書にてご説明申し上げます。

VMware は、Horizon に価値の高い最新のイノベーションを継続的に追加するとともに、ハイブリッドクラウド上から仮想デスクトップとアプリケーションをセキュアに提供するための最新のプラットフォームをお客様に提供してまいりました。そして、Horizon 8 では、以下のような画期的な機能強化を行っております。

- 以下の通り、ネイティブ VMware スタックに対応した新しいクラウド プラットフォームのサポート
 - Horizon on Azure VMware Solution (AVS)
 - Horizon on Google Cloud VMware Engine (GCVE)
 - Horizon on VMware Cloud on Dell EMC
- ホストごとのデスクトップ統合率を高めることでコストの削減を実現する Instant Clone の Smart Provisioning 機能
- Horizon 管理機能の自動化とオーケストレーションを実現する新しい REST API
- Microsoft Teams などのコラボレーション ツールを使用する VDI 体験の最適化
- Linux OS を活用することでコストの削減を実現する Linux ホスト型アプリケーション

継続的に新しい機能を追加する一方で、Horizon 8 では一部機能の提供終了および各エディションのパッケージ内容の変更を行っております。具体的には、Linked Clones、Persona Management、Persistent Disks などの機能が廃止されます。また、vSAN、vRealize Operations for Horizon (v4H)、Fusion といったコンポーネントが各該当エディションから削除されます。これに伴うお客様への影響は、以下の通りとなります。

- Horizon Standard および Advanced をご利用中のお客様
 - Linked Clone、Persona Management、Persistent Disks 機能の代替として、Instant Clone および Dynamic Environment Manager Standard のライセンス権限を付与
- Horizon Advanced をご利用中のお客様
 - 現在ご契約中の「サポートおよびサブスクリプション サービス」(SnS)を通して、vSAN と Fusion に対するサポートおよびアップグレードの提供を継続

- SnS 更新時には、それぞれのコンポーネントを個別に更新
- 必要に応じて別途追加ライセンスを購入可能
- Instant Clone、Dynamic Environment Manager Standard、および VDI 環境での Microsoft Teams の最適化などの機能の追加
- Horizon Enterprise をご利用中のお客様
 - 現在ご契約中の SnS を通して、vSAN、vRealize Operations for Horizon、Fusion のサポートおよびアップグレードの提供を継続
 - SnS 更新時に、それぞれのコンポーネントを個別に更新
 - 必要に応じて別途追加ライセンスを購入可能
 - VDI 環境での Microsoft Teams の最適化、Horizon REST API、Linux ホスト型アプリケーションなど、Horizon 8 でアップデートされた新機能を利用可能

これらの変更は、Horizon 8 の一般提供を開始いたしました 8 月 11 日より有効となります。詳細については以下の FAQ もご確認ください。

Q: Horizon 8 から特定のコンポーネントが削除されるのはなぜですか？

A: Horizon 8 は Horizon 製品における次期メジャー リリースであり、Horizon 7 プラットフォームにおいて随時強化されてきた機能を含む、多くの新機能が追加されます。新機能の追加とともに、一部の機能は提供終了 (EOL) となり、一部のコンポーネントも各エディションから削除されます。

- vSAN for Desktop は Horizon 8 の SKU から削除されることになりましたが、これは Horizon 環境にバンドルされている vSAN for Desktop の利用率が一般的に低いことが当社の調査で明らかになったためです。
 - vSAN ライセンスは、VMware Cloud Foundation (VCF)、HCI Kit、Azure VMware Solution、Google Cloud VMware Engine など、多くのマルチクラウド製品／サービスにおいてすでに利用可能です。
 - Horizon 8 以前の Horizon 製品の購入を通して vSAN for Desktop を入手されたお客様については、無制限ライセンスとして、引き続きご利用いただけます。
 - お客様は必要に応じて SnS の更新や、追加ライセンスの別途購入が可能です。
 - **注:** Horizon 7 をお使いのお客様が 8 月 11 日以降に vSAN for Desktop の SnS を更新される場合、vSAN for Desktop には追加の SnS 費用が必要となります。なお、すでに Horizon 7 の更新見積書が発行されており、見積書の内容に変更が必要ない場合は、vSAN for Desktop を含む Horizon 7 の見積書の有効期限または契約更新日までに更新いただくことが可能です。
- vRealize Operations for Horizon (v4H) については、正式に提供終了 (EOL) の予定となっております。
 - 2022 年 9 月の Horizon 7 の提供終了 (EOL) まで v4H のサポートは継続される予定です。したがって、現在 v4H をお使いいただいている場合、EOL までは引き続きサポートおよびアップデートが提供されます。
 - 2022 年 9 月以降も v4H を継続的にご利用いただくことは可能ですが、一般サポートの提供はございません。
 - VMware の Cloud Management および End-User Computing の両部門は、v4H に代わる新たなモニタリング機能を提供しております。新たなモニタリング機能はハイブリッドおよびマルチクラウド環境に展開された VDI とアプリケーションに適しており、徐々に新たなモニタリング機能への移行が可能です。
 - **注:** Horizon 7 をご利用のお客様が 8 月 11 日以降に v4H を更新される場合、v4H には追加の SnS 費用が必要となります。なお、すでに Horizon 7 の更新見積書が発行されており、見積書の変更が必要ない場合は、v4H を含む Horizon 7 の見積書の有効期限または契約更新日までに更新いただくことが可能です。

- Fusion は Horizon 8 の SKU から削除されます。
 - これは、当初想定されていた Fusion と Horizon の連携に基づいたユースケース(例えば、2019 年に提供終了(EOL)となった VMware Mirage が管理する BYO デバイスへの契約社員によるアクセスなど)が失われたためです。
 - Horizon 8 以前の Horizon 製品の購入を通して Fusion を入手されたお客様については、無制限ライセンスとして、引き続きご利用いただけます。
 - お客様は必要に応じて SnS の更新や、追加ライセンスの別途購入が可能です。
 - 注: Horizon 7 をお使いのお客様が 8 月 11 日以降に Fusion を更新される場合、Fusion には追加の SnS 費用が必要となります。すでに Horizon 7 の更新見積書が発行されており、見積書の変更が必要ない場合は、Fusion を含む Horizon 7 の見積書の有効期限または契約更新日までに更新いただくことが可能です。

Q: パッケージの変更に伴い、Horizon 8 のエディション(Standard、Advanced、Enterprise)の価格も変更になりますか？

A: いいえ、無制限ライセンスの Horizon エディションの価格に変更はございません。

Q: お客様が現在お持ちの vSAN、vRealize Operations for Horizon、Fusion に対してのライセンス権限は失効となりますか？

A: いいえ、2020 年 8 月 11 日以前に購入した既存のライセンスであれば、3 つの製品のいずれのライセンス権限も維持されます。

Q: vSAN、vRealize Operations for Horizon、Fusion のアップデートは今後も提供されますか？

A: はい、お客様が有効な「サポートおよびサブスクリプション サービス」(SnS)を維持している間は、引き続き提供されます。

Q: どの機能が廃止されますか？

A: 廃止となる機能と、代替機能を以下にまとめました。また、2020 年第 4 四半期に Horizon 7 Extended Service Branch の最終リリースとなる Horizon 7.13 のリリースを予定しております。なお、VMware Horizon 8 のリリース番号は、ビルド リリースの年と月を示す Horizon 8 2006 となります。

機能	説明	代替機能
Linked Clones	VMware Horizon 8 2006、7.13 (ESB)およびそれ以前のバージョンでサポートされています。今後の Horizon 8 リリースではサポートされません。	Horizon Standard と Advanced エディションでは、Instant Clone に置き換えられました。Instant Clone に移行されている場合、または Horizon 8 で Instant Clone に移行する予定がある場合にのみ、Horizon 8 へのアップグレードをお勧めいたします。
Persistent Disks	VMware Horizon 8 2006、7.13 (ESB)およびそれ以前のバージョンでサポートされています。今後の Horizon 8 リリースではサポートされません。	Dynamic Environment Manager (Horizon 8 GA 以降は、Horizon Standard および Horizon Advanced に Dynamic Environment Manager Standard として追加)、App Volumes の User Writable Volumes および FSLogix の機能に置き換えられます。
Persona Management	VMware Horizon 8 2006、7.13 (ESB)およびそれ以前のバージョンでサポートされています。今後の Horizon 8 リリースではサポートされません。	Dynamic Environment Manager (Horizon 8 GA 以降は、Horizon Standard および Horizon Advanced に Dynamic Environment Manager Standard として追加)、App Volumes の User Writable

		Volumes および FSLogix の機能に置き換えられます。
Windows 7、8、Windows Server 2008 のサポート	Horizon 7.13(ESB)およびそれ以前のバージョンでサポートされています。VMware Horizon 8 2006 以降ではサポートされません。	なし
Just-in-time Management Platform (JMP) サーバ	VMware Horizon 8 2006、7.13 (ESB)およびそれ以前のバージョンでサポートされています。VMware Horizon 8 2006 以降ではサポートされません。	Horizon 制御プレーン上のマルチクラウド JMP ワークフローに置き換えられます。
FLEX 管理コンソール	VMware Horizon 8 2006、7.13 (ESB)およびそれ以前のバージョンでサポートされています。VMware Horizon 8 2006 以降ではサポートされません。	Horizon コンソール(HTML)に置き換えられます。
ThinPrint	Horizon 7.13(ESB)およびそれ以前のバージョンでサポートされています。VMware Horizon 8 2006 以降ではサポートされません。	VMware Integrated Printing に置き換えられます。
Security Server	Horizon 7.13(ESB)およびそれ以前のバージョンでサポートされています。VMware Horizon 8 2006 以降ではサポートされません。	Unified Access Gateway に置き換えられます。

Q: VMware Horizon 7 の提供終了(EOL)はいつですか？

A: 現在の[ライフサイクル マトリックス](#)をご覧くださいと、Horizon 7.10 の一般サポート終了日(EOGS)は2021年9月17日、テクニカル ガイダンスの終了日(EOTG)は2023年3月22日と設定されております。Horizon 7.13 は2020年第4四半期に一般公開(GA)を予定しており、一般公開日から約2年間のサポートが継続される予定です。

Q: お客様はただちに VMware Horizon 8 2006 にアップグレードしなければなりませんか？

A: いいえ、新しい Horizon 8 プラットフォームへのアップグレードは必須ではありません。旧バージョンの Horizon 7(または Horizon 6)を引き続きお使いいただけますが、[VMware ライフサイクル マトリックス](#)に記載されている通り、特定の時期に達するとサポートが終了いたします。

Q: VMware Horizon 8 2006 で vRealize Operations for Horizon(v4H) を使用できますか？

A: VMware vRealize Operations for Horizon(v4H) は、VMware Horizon 8 2006 ではサポートされません。したがって、vRealize Operations for Horizon(v4H) を引き続きご利用いただくには、VMware Horizon 7 プラットフォームを維持いただく必要があります。

Q: Horizon 環境のモニタリング オプションにはどのようなものがありますか？

A: 前述のとおり、現在 vRealize Operations for Horizon (v4H)を使用されている場合は、Horizon 7 プラットフォーム を引き続きご利用いただくことで、一般サポート終了日(EOGS)までご利用いただけます。また、以下のようなオプションをご用意しております。

- 2020年第3四半期にリリース予定の新たな vRealize Operations Cloud 製品(SDDC および Horizon 環境のインフラストラクチャの監視および健全性など)。価格などの詳細については、近日発表予定です。

- VMware は ControlUp と連携することで、Horizon を利用されるお客様に、ゲスト内メトリックを含む Horizon 環境の監視、レポート作成、トラブルシューティング、根本原因の分析機能を提供いたします。お客様は、Horizon と Workspace ONE Enterprise のアドオンとして ControlUp を購入いただけます。
- Horizon 制御プレーンには Cloud Monitoring Service (CMS) が組み込まれており、Horizon のサブスクリプション サービスにおいてご利用いただくことが可能です。

ご不明点がございましたら、いつでもお問い合わせください。

よろしくお願い申し上げます。

敬具

A handwritten signature in black ink, consisting of several loops and a long horizontal stroke, positioned above the printed name.

バラス ランガラジャン (Bharath Rangarajan)
VMware Inc.
エンドユーザーコンピューティング部門
副社長 仮想ワークスペース製品担当